

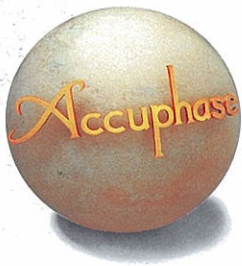
Accuphase

STEREO CONTROL CENTER

C-245

●高域の位相特性に優れたカレントフィードバック増幅回路 ●6個のラインアンプ・ユニットを『3バラレル×2』接続したMCS回路を搭載 ●各増幅回路はディスクリート構成で完全ユニット・アンプ化 ●左右独立した専用電源トランスを搭載 ●トーンコントロール回路装備 ●オプション・ボードでデジタル入力の演奏およびアナログ・レコードの再生可能





P-370とベスト・ペアとなるセパレート・アンプ——カレントフィードバック増幅回路を採用、6個のラインアンプ・ユニットを『3パラレル×2』接続したMCS回路を搭載。各増幅回路はディスクリート構成で完全独立ユニット・アンプ化、左右独立電源によるモノ・コンストラクション。オプション・ボードを増設して、デジタル入力でのハイグレードなCD演奏が可能。

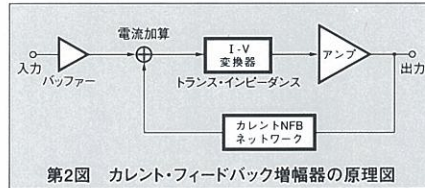
アキュフェーズのプリアンプは、カレント・フィードバック増幅回路やバランス伝送による徹底したクオリティ重視と高音質伝送を目指し、技術と感性の熟成によって真の再生音を追求してきました。そして現在最も信頼性の高いプリアンプとして高い評価を頂いております。C-245は、いままでに蓄積した優れた技術を踏襲、性能と音質を一段と磨き上げたステレオ・コントロールセンターです。C-245の型名は、アキュフェーズ創業以来の支柱となってきたセパレート・アンプC-200/P-300シリーズの後継機として、200番台を継承しました。なおベスト・ペアとなるステレオ・パワーアンプは、1Ωの超低インピーダンス負荷に於いて400W/chのパワーを実現したP-370となります。

C-245のラインアンプの基本回路は、その効果が高く評価され、特性・音質面で実績のある、カレント・フィードバック増幅回路を採用しました。このラインアンプ・ユニットを左右合計6個で構成し、『3パラレル×2』で動作するアキュフェーズ独自のMCS回路を搭載、SN比やひずみ率など諸特性の大幅向上と優れた音質を実現しました。ステレオ・プリアンプとして一段と完成度を高め、パーツ一つ一つの吟味と試聴を繰り返し、トーンコントロール、コンペンセーターなど音質調整機能やテープ関係を充実させ、音質・性能を極限まで練り上げた自信作です。

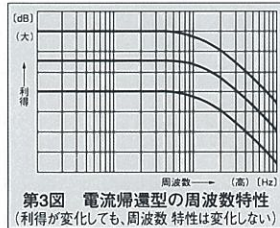
さらに、オプション関係の拡張性を高め、MDS (マルチプルΔΣ) 方式D/Aコンバーターを搭載した『デジタル入力ボード』を用意、CDプレーヤーなどのデジタル信号を直接接続して、ハイグレードな音楽再生を可能にします。また、アナログレコードも楽しめるオプションボードも用意されています。

高域の位相特性と音質に優れたカレント・フィードバック増幅回路を採用

増幅方式は、出力信号を電流の形で帰還するカレント・フィードバック増幅回路を採用しました。

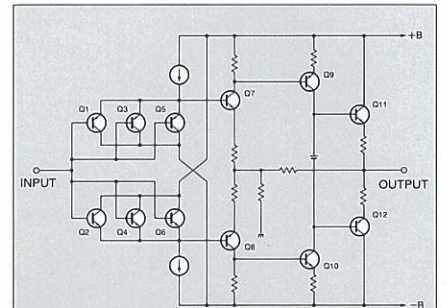


第2図にその基本原理図を示します。まず帰還側の入力端子のインピーダンスを下げて電流を検出します。その電流をトランス・インピーダンス増幅器でI-V(電流-電圧)変換し、出力信号を作ります。帰還入力部分(第2図の電流加算部分)のインピーダンスが極めて低いので、位相回転が発生しにくく、その結果位相補償の必要は殆どありません。このように、少量のNFBで諸特性を大幅に改善できるため、立ち上がり等の動特性に優れ、音質面でも自然なエネルギー応答を得ることができます。第3図に電流帰還増幅器の利得を変化させた場合の周波数特性を示します。広い帯域にわたって一定の特性であることが分かります。

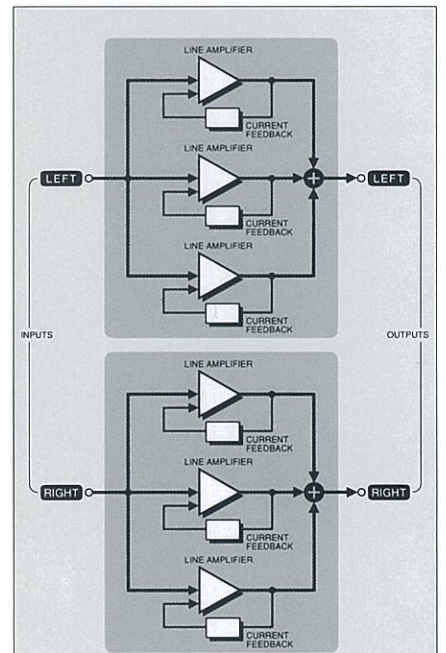


音質重視のディスクリート型ラインアンプ。6個のラインアンプ・ユニットを『3パラレル×2』接続したMCS回路を搭載

ラインアンプ・ユニット(第4図)は、ピュア・コ



第4図 ラインアンプ・ユニットのサーキット・ダイアグラム (このユニットを片チャンネル3パラレル使用)

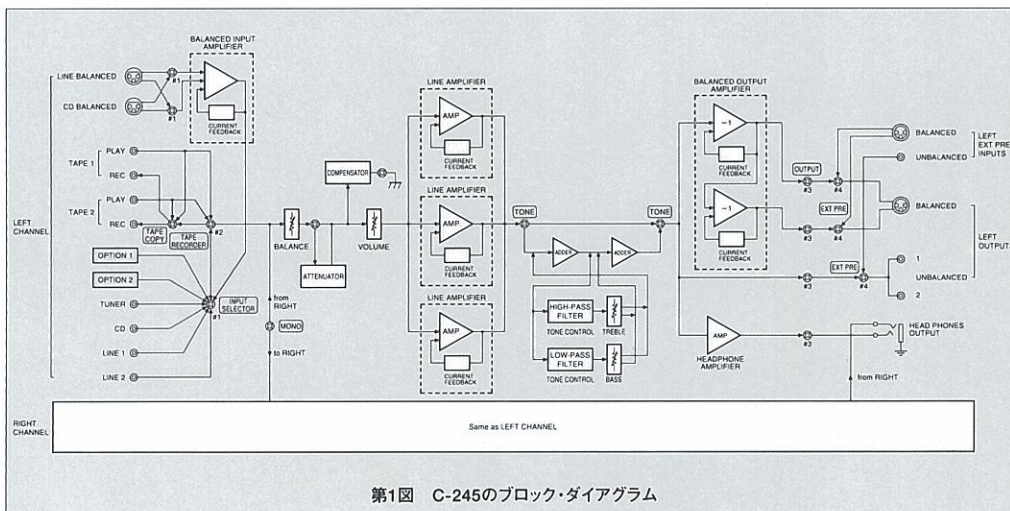


第5図 ラインアンプ(MCS回路)の原理図

ンプリメンタリー・プッシュプル回路で、入力素子を3パラレルとして低雑音化を計っています。これをカレント・フィードバック増幅回路とし、ディスクリート・パーツで構成しました。C-245は、完全独立6個のラインアンプ・ユニットを『3パラレル×2』構成とした、アキュフェーズ独自のMCS(Multiple Circuit Summing-up)回路を採用しました。第5図のように、左右それぞれのラインアンプ・ユニットを3パラレル接続として、2系統のラインアンプに集約することにより、SN比、ひずみ率など諸特性が大幅に向上、一段と高性能なステレオ・プリアンプとなります。

外来誘導雑音を受けにくいバランス接続

機器間を接続するケーブルが長くなるほど、信号ケーブルから混入する外来雑音によつ



第1図 C-245のブロック・ダイアグラム

■6個のラインアンプ、バランス入・出力アンプなど
合計10個のユニットアンプがマザー・プリント
ボード上に整然と配置された基板

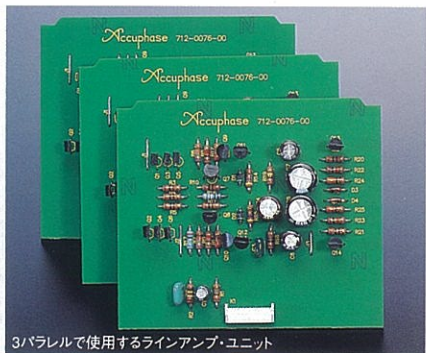
■リモート・コマンダー
RC-20
音量調整と入力セレ
クターの切替可能



て信号が妨害され音質に
影響を与えます。バランス接続によ
りこの妨害を受けにくくなり、良質な信号伝送
が可能になります。

各増幅回路を完全独立させ、ユニットアンプ化

6個のラインアンプ、バランス入力アンプ、バラ
ンス出力アンプを完全独立させ、左右合計10ユ
ニット・アンプ構成とし、マザーボード上に整
然と配置しました。これらのユニットアンプは、
相互干渉しないようにフレーム材でしっかり
固定、外部振動による共振を防止しています。



3/4並列で使用するラインアンプ・ユニット

**左右独立電源トランス、完全モノ・コンストラ
クションの理想電源**

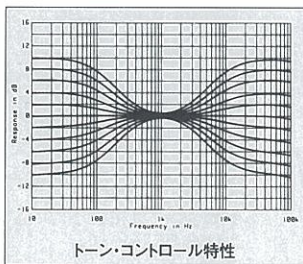
電源トランス、フィルター・コンデンサーとも左右
独立し電気的にモノフォニック構成になっ
ています。全ユニットアンプに供給する広帯域

低インピーダンス

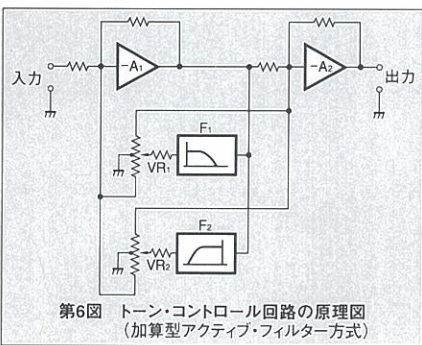
電源を備え、更に各アンプには
それぞれ専用電源を設けてアンプ間の相互
干渉を徹底的に防止しています。

**音質重視の加算型アクティブ・フィルター方式
トーン・コントロール**

加算型アク
ティブ・フ
ィルター方
式のトーン
・コントロ
ールを搭載
しました。こ
の原理図は



トーン・コントロール特性

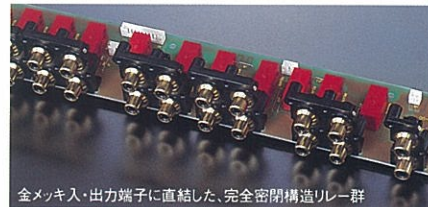


第6図 トーン・コントロール回路の原理図
(加算型アクティブ・フィルター方式)

第6図の通りで、本来のフラット信号はストレ
ートに通過し、必要に応じて F_1 、 F_2 で特性を作り、
フラット信号から加減させる方式で、音質の優
れた方式です。

**高音質・長期安定性に優れた、ロジック・リレー
コントロール信号切替回路**

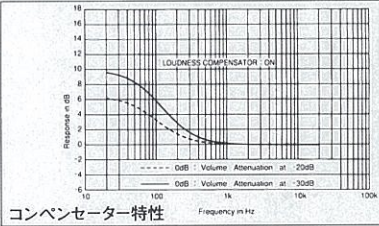
最短でストレートな信号経路を構成するロジッ
ク・リレーコントロール方式を採用しました。こ
れに使用するリレーには通信工業用の密閉形リ
レーを採用し、その接点は金貼り・クロスパー
ツイン方式で、低接点抵抗・高耐久性の極めて質
の高いものです。



金メッキ入・出力端子に直結した、完全密閉構造リレー群

そのほかの機能・特長

- オプション・ボードを増設してデジタル信号を入力、ハイグレードなCD演奏が可能
- オプション・ボードを増設して、アナログ・レコードの再生可能
- 高音質ボリュームの採用。音量および入力ソースをコントロールするリモート・コマンダーを付属
- ハイカーボン鑄鉄製の高音質インシュレーターの採用
- 音質重視の専用ヘッドフォン・アンプ回路を内蔵
- 外部プリアンプで演奏を楽しむ「EXT PRE」機能
- 小音量時に低音域を増量するコンベンセーター機能装備



コンベンセーター特性

オプション・ボード

デジタル入力ボードDAC-10、アナログ・ディスク入力ボードAD-10、ライン入力ボードLINE-10の3種類のオプション・ボードが用意されています。用途に応じてリアパネルのオプション用スロットに増設してください。

- DAC-10は、E-407,E-406V,E-306V,E-211,C-265には使用できません。
- アナログ・ディスク入力ボードAD-9、ライン入力ボードLINE-9も使用できます。



写真のオプション・ボードは DAC-10

デジタル入力ボード DAC-10

MDS(マルチプル DΣ)方式D/Aコンバーターを搭載。CDプレーヤー、MD、DATなどのデジタル出力(サンプリング周波数32kHz~96kHz、24bit)を接続して、ハイグレードな音楽演奏が可能。

- 同軸(COAXIAL)、光ファイバー(OPTICAL)の入力端子を装備。

希望小売価格 50,000円

アナログ・ディスク入力ボード AD-10

高性能ハイゲイン・イコライザーを搭載。アナログ・レコードを高音質再生。

- 内部ディップスイッチにより、MM/MC切替、MC入力インピーダンス、サブソニック・フィルターON/OFFを設定。

MM	ゲイン	: 36dB
	入力インピーダンス	: 47kΩ
MC	ゲイン	: 62dB
	入力インピーダンス	: 10/30/100Ω切替

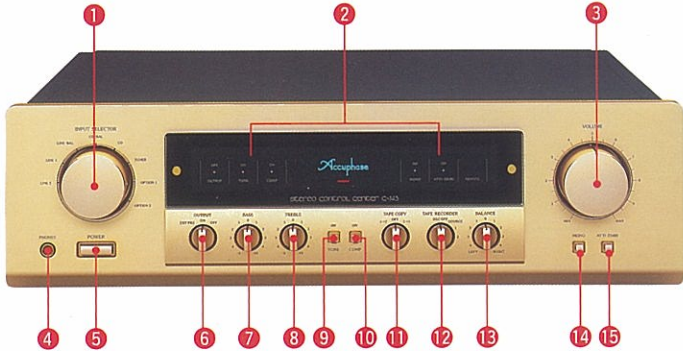
希望小売価格 50,000円

ライン入力ボード LINE-10

アンバランス方式の一般的なハイレベル入力端子。CDプレーヤー、チューナーなどアナログ信号を再生。

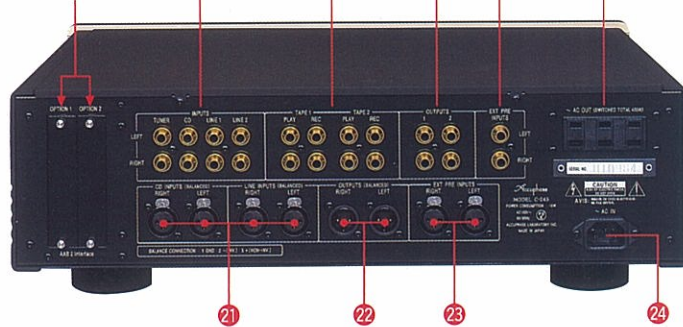
希望小売価格 8,000円

■ フロントパネル



■ リアパネル

オプション・ボード増設スロット



- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 入力セクター | 16 バランス調整 |
| 2 ファンクションLEDインジケータ | 17 ステレオ/モノ切替ボタン |
| 3 ボリューム | 18 アッテネーター |
| 4 ヘッド・フォン端子 | 19 ライン入力端子 |
| 5 電源スイッチ | 20 テープレコーダー録音・再生端子(2系統) |
| 6 EXT PRE,出力ON/OFF切替スイッチ | 21 アンバランス出力端子(2系統) |
| 7 低音コントロール | 22 外部プリアンプ入力端子(アンバランス) |
| 8 高音コントロール | 23 ACアウトレット(電源スイッチに連動) |
| 9 TONEコントロールON/OFFボタン | 24 CD/LINEバランス入力コネクター |
| 10 コンベンセーターON/OFFボタン | 25 バランス出力コネクター |
| 11 テープコピー・スイッチ 1→2 OFF 2→1 | 26 外部プリアンプ入力端子(バランス) |
| 12 録音出力/テープモニター・スイッチ | 27 AC電源コネクター |
| REC OFF SOURCE 1 2 | |

C-245 保証特性 [保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

- 周波数特性 BALANCED/UNBALANCED INPUT
3~300,000Hz +0 -3.0dB
20~20,000Hz +0 -0.2dB
- 全高調波ひずみ率 (全ての入力端子にて) 0.005%
- 入力感度・入力インピーダンス

入力端子	入力感度		入力インピーダンス
	定格出力時	0.5V出力時	
BALANCED	252mV	63mV	40kΩ
UNBALANCED	252mV	63mV	10kΩ
- 定格出力・出力インピーダンス BALANCED/UNBALANCED OUTPUT 2V 50Ω
TAPE REC 252mV 200Ω
- S/N・入力換算雑音

入力端子	入力ショート IHF-A補正		EIA S/N	残留ノイズ
	定格出力時S/N	入力換算雑音		
BALANCED	108dB	-120dBV	97dB	1.0μV
UNBALANCED	121dB	-133dBV	97dB	1.0μV
- 最大出力レベル (ひずみ率 0.005% 20~20,000Hz)
BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 5.0V
TAPE REC : 5.0V
- 最小負荷インピーダンス
BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 600Ω
TAPE REC : 10kΩ
- ゲイン
BALANCED/UNBALANCED INPUT→BALANCED/UNBALANCED OUTPUT : 18dB
BALANCED/UNBALANCED INPUT→REC OUTPUT : 0dB
- ラウドネス・コンベンセーター +6dB(100Hz)
- トーン・コントロール ターンオーバー周波数および可変範囲
低音 (BASS) : 300Hz ±10dB (50Hz)
高音 (TREBLE) : 3kHz ±10dB (20kHz)
- アッテネーター -20dB
- ヘッドフォン端子 適合インピーダンス 8~100Ω
- 電源 AC100V 50/60Hz
- 消費電力 16W
- 最大外形寸法 幅 475mm × 高さ 150mm × 奥行 409mm
- 質量 16.8kg
- 付属リモート・コマンダー RC-20
 - リモコン方式 : 赤外線パルス方式
 - 電源 : DC 3V・乾電池 単3形 2個使用
 - 最大外形寸法 : 55mm × 194mm × 18mm
 - 質量 : 100g (電池含む)

- 付属品 ● AC電源コード
● プラグ付オーディオ・ケーブル(1m)
● リモート・コマンダー RC-20

■ 希望小売価格 320,000円



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

※本機の特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

*表示価格は税別です。



ACCUPHASE LABORATORY INC.

アキュフェーズ株式会社

〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10

TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052

http://www.accuphase.co.jp/